

第9回フォーラム開催のご案内

SIMPI 会員の皆様方におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、これまで四国各県持ち回りで開催して参りましたフォーラムですが、3月の第8回フォーラムは会場の都合により高松での連続開催となりました。この度、9月に下記の要領で愛媛大学にて第9回フォーラムを開催する運びとなりましたので、ご案内申し上げます。

今回のフォーラムでは3件の講演、および精油抽出用マイクロ波実験装置の展示を予定しております。

産業技術総合研究所つくばセンターの長畑律子先生はマイクロ波有機合成において、ラボスケールで精査した結果を基に実用生産プロセスまで展開された実績を持たれており、今回の講演でそのご経験を紹介頂きます。

また、日本化学機械製造株式会社の近田司先生は、香川県の研究所である高温高压流体技術研究所に長年勤められたSIMPI前代表です。今回のご講演では、公設研究所でのご経験と企業研究部門での現在の取り組みとの両方を踏まえた実用化への可能性についてご紹介頂きます。

最後にご講演いただく愛媛県産業技術研究所の平岡先生には、マイクロ波を利用した食品加工についてご紹介頂きます。減圧下でのマイクロ波処理により、マアジの骨まで食することのできるスナック乾燥品を開発したご経験をお聞き頂ければと思います。

休憩時間には、これまでも何度かSIMPIで採り上げてきた果皮からの精油抽出について、ラボ用の実験装置を展示し、御興味のある方にはSIMPIの加藤代表、四国計測工業株式会社の杉本氏より説明を頂く予定としております。

フォーラム終了後には、学内のセ・トリアンにて懇親会（有料）も計画しておりますので、是非会場まで足をお運び頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。なお本フォーラムは、平成23年度愛媛大学学会・シンポジウム等開催支援経費の支援を受け実施されます。

記

1. 開催日時 平成23年9月2日（金）13:00～
2. 開催場所 フォーラム：愛媛大学 校友会館2階サロン（城北キャンパス 愛媛県松山市文京町3）
懇親会：セ・トリアン（愛媛大学校友会館1階）
3. プログラム 別紙
4. 参加費 フォーラム（無料）、懇親会（4,000円）
5. 参加申込方法
8/19（金）までにE-Mailにて以下の内容を記載の上、お申し込み下さい。
なお、会場の収容人数が50名となっております。当日は事前申込みの方を優先させていただきますので、あらかじめご了承下さい。
 - ・ 氏名
 - ・ 所属（企業名、大学名）
 - ・ 連絡先（E-Mail アドレス、もしくは電話番号）
 - ・ フォーラムへの出欠
 - ・ 懇親会への出欠
 - ・ 機器・製品の展示についてご希望がある場合はその旨ご連絡下さい

〈申込・問合せ先〉

〒761-0301 香川県高松市林町2217-43（財）かがわ産業支援財団地域共同研究部内

四国マイクロ波プロセス研究会 事務局

TEL 070-5681-2019 FAX 087-869-3441

e-mail: simpi@kagawa-isf.jp

HP：<http://www.d1.dion.ne.jp/~shunkato/index.html>

第9回フォーラム プログラム

主催：四国マイクロ波プロセス研究会（SIMPI）

後援 愛媛大学

独立行政法人産業技術総合研究所四国センター

財団法人四国産業・技術振興センター（STEP）

財団法人えひめ産業振興財団

愛媛県産業技術研究所

公益財団法人かがわ産業支援財団

協賛 日本電磁波エネルギー応用学会（JEMEA）

開催日時 平成23年9月2日（金） 13:00～

開催場所 愛媛大学 校友会館2階サロン

<プログラム>

- ① 13:00-13:15 開会挨拶（愛媛大学 教授） 小島 秀子
（SIMPI 代表） 加藤 俊作

- ② 13:15-14:15 「マイクロ波加熱を利用したポリエステル製造」
産業技術総合研究所 つくばセンター 長畑 律子 主任研究員

エネルギー多消費型プロセスであるポリエステル製造技術の高効率化を実現するために、マイクロ波加熱法を応用したプラントの実用化に取り組んだ。装置設計に必要なデータの取得や課題の抽出について紹介する。

- ③ 14:15-14:45 休憩
機器展示 ラボ実験用マイクロ波抽出装置
（SIMPI 加藤代表、四国計測工業(株) 杉本氏）

- ④ 14:45-15:30 「マイクロ波高温高圧スラリー連続反応装置と産業利用の可能性」
日本化学機械製造株式会社 近田 司 次長

高圧容器として汎用される金属材料は、マイクロ波を透過しない。従って、マイクロ波を加熱源とした高圧反応を実現するためには種々の工夫が必要となる。当社では、マイクロ波高温高圧反応を、スラリー原料に対しても可能とする連続装置を製作している。本講演では、この連続装置の概要を紹介すると共に、その産業利用の可能性について言及する

- ⑤ 15:30-16:30 「マイクロ波減圧乾燥法によって得られるマアジ乾燥品の製造」
愛媛県産業技術研究所 平岡 芳信 技術支援室長

減圧下マイクロ波加熱法を用いて、マアジフィレからカリッと食感を有する骨まで食することができるスナック乾燥品を開発した。その時のマアジ中骨の脆弱化のメカニズム及び筋原繊維タンパク質の性状変化を明らかにした。

フォーラムに引き続き、懇親会（参加費4000円、校友会館1階 セ・トリアン）を開催致します。
当日参加をご希望の方は、受付までお申し出下さい。